

【研究テーマ】

学校、家庭、地域が連携し子ども一人一人に「生きる力」を育むPTA活動
～星峯西小学校PTA 家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

1 はじめに（本校の概要、三者連携の考え方）

令和4年度
**チーム星峯西小で取り組む
PTA活動**
～今、求められる家庭教育力とは～
家庭教育力アップ共通実践事項の
実践構想

鹿児島市立星峯西小学校
校長 谷口源太郎

学校及びPTAの概要
本校の歴史、児童数、学級数、PTA戸数等



創立 42年目
児童数 611名
学級数 25学級
教職員数 53名
P世帯数 457戸
校区 12地区
校訓 「かしこく なかよく たくましく」

学校、家庭、地域が連携し、子ども一人一人に「生きる力」を育む星峯西小学校プランの概要図



学校、家庭、地域が連携し、子ども一人一人に「生きる力」を育む星峯西小学校プランの概要図

2 本校PTA活動研究テーマの設定

本校PTA活動研究テーマの設定について
鹿児島市PTA連合会努力目標

生涯学習の観点に立ち、活力ある健全な児童・生徒を育成するため、**家庭・学校・地域との緊密な連携**を図りながら、**共に学び実践するPTA**を目指す。

学校の教育課題

学力低下、いじめ、不登校、問題行動、ネット依存、虐待、自死、けが・事故等

本校PTAの課題

共働き世帯増加、役員負担感、子育ての悩み、進学、しつけ、児童虐待等

校区・地域の課題

少子高齢化、過疎化、地域担い手不足、伝統文化継承、防災等

星峯西小学校PTA研究テーマ

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動
～星峯西小学校 家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

3 家庭教育力アップの5つの共通実践事項とは

星峯西小学校 PTA研究テーマ

学校、家庭、地域が連携し、「生きる力」を育むPTA活動
～家庭教育力アップ共通実践事項の取組～

知育：かしこく

読書活動（うち読）
確かな学力
自分で課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力

徳育：なかよく

あいさつ運動（家族・近所）
豊かな人間性
自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など

体育：たくましく

早寝・早起き朝ご飯
健康・体力
たくましく生きるための健康や体力

ノーメディアタイム

一家庭一家訓

「生きる力」

4 学校組織とPTA組織が連携して取り組むイメージ
学校組織とPTA組織が連携した取組方のイメージ

「生きる力」(知・徳・体)の育成

【学校(校務分掌)組織】

- ◆学年部等
- ◆教科領域部等
- ◆教務部
・教務、研修、教育方法、広報渉外、特別支援教育、人権同和教育
- ◆生徒指導部
・生徒指導、教育相談、特別活動、読書指導
- ◆保健部
・保健指導、安全指導、体育指導、給食指導、環境衛生、防火防災

↑
実践

↓
実践

【PTA組織】

- ◆三役・執行部
- ◆PTA専門部活動
○事業部
○生活広報部
○保健体育部
- ◆学年部
○学年・学級PTA
※家庭教育学級
※家庭教育充実研修会
- ◆地域部
○地域PTA
- ◆おやじの会

【PTA共通実践事項】

- ①あいさつ運動
- ②一家庭一家訓
- ③ノーメディアタイム
- ④読書活動(うち読)
- ⑤早寝早起き朝ご飯

PとTが連携

各組織・部が5つの共通実践事項をそれぞれ担う仕組み
PTA組織と連携した共通実践事項の取組イメージ

「生きる力」(知・徳・体)の育成

【PTA共通実践事項】

- ①あいさつ運動
- ②一家庭一家訓
- ③ノーメディアタイム
- ④読書活動(うち読)
- ⑤早寝早起き朝ご飯

↑
実践

↓
実践

【PTA組織】

- ◆三役・執行部
- ◆PTA専門部活動
○事業部
○生活広報部
○保健体育部
- ◆学年部
○学年・学級PTA
※家庭教育学級
※家庭教育充実研修会
- ◆地域部
○地域PTA
- ◆おやじの会

P組織を活かした取組

5 5つの共通実践事項とPTA組織を関連づけた具体的な取組方

【実践の基本的な考え方】

(1) これまで取り組んできている事業で共通実践事項に関連する活動は基本的に継続していく。

学校組織 T: 教師 C: 子ども	家庭教育力アップ共通実践事項	PTA組織 P: 保護者 C: 地域
T: 生徒指導部 C: 生活委員会 (あいさつ運動)	① あいさつ運動	P: 執行部が企画→各学年・学級へ依頼し、輪番制で実施。継続
T: 生徒指導 (不登校等の対応) 情報教育 (インターネット利用状況調査、情報モラル教育 等) C: 放送委員会 ()	② ノーメディアタイム (メディアコントロール)	P: 保体部「チャレンジ・メディア・コントロール」実施。継続 ※各家庭でのルールづくり ※情報モラルに関する講演会 等
T: 生徒指導部 C: 6年生朝のボランティア活動	③ 一家庭一家訓	P: 各家庭で手伝いやきまりの時間をつくり、実践 * PTA新聞又はPTAだよりで発信
T: 生徒指導部 (読書指導係: 朝読) C: 図書委員会 (音読放送、読書祭り)	④ 読書活動 (うち読)	P: 各家庭で読書の時間をつくり実践 C: 地域ボランティアグループの読み聞かせ実施。親子読書会。継続
T: 保健部 (体育指導係、保健指導係、給食指導係) C: 体育委員会 (体カづくり) C: 保健委員会 (健康観察配り) C: 給食委員会 (給食放送呼びかけ)	⑤ 早寝早起き朝ごはん	P: 各家庭で早寝早起き朝ごはんのきまりを親子でつくり、実践。 * 家庭教育充実研修会「歯と口の健康」アンケート→「早寝早起き朝ごはん」の取組に変更できないか4月に話し合う。 * 学校保健委員会で報告、情報共有

- ※ アンケート調査は、学校評価と合わせて Google フォームで一緒にとる。(年2回、前期と後期)
- ※ 調査結果については、学校評価の集約とグラフ化を学校で行い、PTA 会員にフィードバックする。
- ※ PTA 新聞やだよりにも関連記事を掲載する。

(2) 5つの共通実践事項について新たに取り組む各部については従来の活動を削減又は縮小する。

※ scrap & build

6 具体的な取組イメージ

① あいさつ運動 (家族・近所) の取組 校訓: なかよく【徳育】を育てる取組

【PTA共通実践事項の具体的な取組】

① あいさつ運動

PTAの当番活動として取り組んでいる保護者のあいさつ運動

学校正門前での生活委員会、児童会による朝のあいさつ運動

T: 生徒指導部
C: 生活委員会 (あいさつ運動)

P: 執行部が企画→各学年・学級へ依頼し、輪番制で実施。継続

② 一家庭一家訓の取組 校訓：なかよく【徳育】を育てる取組

【共通実践事項の具体的取組イメージ】

② 一家庭一家訓



基本的な生活習慣の確立や家族の一員として自覚を促す取組(食器洗いや炊飯器洗いのお手伝いをする子どもの様子)

【一家庭一家訓のよさ】

- 家庭で過ごす時間を有効に使えるようになる。
- 家族各自の自主性と責任感を育てられる。
- 家族の関わりが増え、家族一人一人の役割がはっきりする。

【共通実践事項の具体的取組イメージ】

③ ノーメディアタイム



テレビを消して学習に取り組む子どもの様子



学習する子どもを励ましたり教えたりする保護者の様子

ノーメディアタイムとは、子どもたちが生涯にわたって自主的・主体的にメディアを上手に使えるようにするために、親子で家庭内ルールをつくり取り組んでいくこと? **実施状況をアンケートで把握**

③ ノーメディア（テレビ、ゲーム等）タイムの取組 校訓：かしこく【知育】を育てる取組

ノーメディアタイムと家庭学習の取組

星峯西小学校 家庭学習の目安時間

○ 学年 × 10 + 20分 (読書除く)

1年生 30分 + 30分 2年生 40分 + 20分

3年生 50分 + 10分 4年生 60分

5年生 70分 6年生 80分

※ 中1: 90分 中2: 100分 中3: 110分

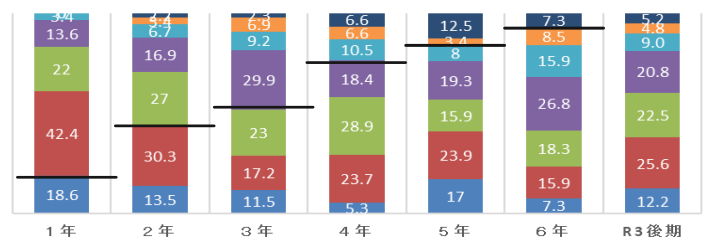
関連

家庭学習60・90(ろくまる・きゅうまる)運動 県P連の取組

15 平日の家庭学習時間

【前期評価】	71.8	44.5	39.9	19.1	16.5	8.1	33.3
【後期評価】	71.4	56.2	48.3	23.7	15.9	7.3	37.3

※この数値は目安時間を達成した者の割合



【本校の家庭学習の目安時間】 学年 × 10 + 20分 (読書時間除く) となっています。
 1年生: 30分、2年生: 40分、3年生: 50分、4年生: 60分、5年生: 70分、6年生: 80分
 各学年で横線を引いた部分が家庭学習目安時間に当たるところです。横線から上方部分が目安時間をクリアしている児童の割合になります。学年が上がるにつれて目安時間を達成している児童の割合が少なくなっています。本校は、家庭学習平均時間が県・全国と比較して少ないが、学力は県・全国平均を上回っています。家庭学習時間が県・全国並みになれば更に学力は高まると推察できます。

④ 読書活動（うち読・音読）の取組 校訓：かしこく【知育】を育てる取組

④ 読書活動（うち読・音読）

音読カード

小学校 1年 1組 (ミドリ)

めあて おおきなひきはとよむ

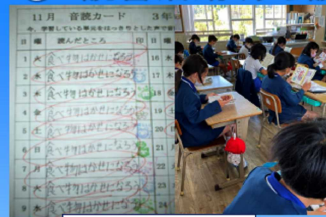
日	曜日	題名	回数	はつきりした回数	読み進めた回数	読むスピード	家の人のサイン	先生から
1	水	おおきなひ	5	○	○	○	○	
2	木	おおきなひ	6	○	○	○	○	
3	金	おおきなひ	6	○	○	○	○	
4	土	おおきなひ	7	○	○	○	○	
5	日	おおきなひ	7	○	○	○	○	
6	月	おおきなひ	6	○	○	○	○	
7	火	おおきなひ	6	○	○	○	○	
8	水	おおきなひ	5	○	○	○	○	くほ
9	木	おおきなひ	5	○	○	○	○	くほ
10	金	おおきなひ	4	○	○	○	○	くほ
11	土	おおきなひ	3	○	○	○	○	くほ
12	日	おおきなひ	5	○	○	○	○	くほ

すべての学年学級で取り組みます。保護者の見届けをお願いします。

昼休みに校内放送で放送します

【共通実践事項の具体的取組イメージ】

④ 読書活動（うち読）



音読カードの見届け



家庭でのうち読



地域ボランティアグループによる読み聞かせの活動

⑤早寝・早起き・朝ごはん・・・校訓：たくましく【体育】を育てる取組

【共通実践事項の具体的取組イメージ】

⑤ 早寝早起き朝ごはん

【平日にスポ活動・習い事等をしている児童生徒の場合】

16:00	17:00	19:00	19:30	20:30	22:00
放課後児童クラブ (60分)	【スポ少・地域スポ活動】 野球、ソフトボール サッカー、ミニバスケット バレーボール 水泳 陸上【習い事】 柔道 空手など	帰宅	夕食	家庭学習 (90分)	就寝
			風呂		
			自由	?	
				ノーマディアタイム?	

5h 3h

【スポ少等指導者】

- 練習日(休養日2日)、練習時間(2時間程度)の厳守
- 17時からスタート
- 19時に終了、帰宅

【保護者へのお願い】

- 夕食、風呂までの時間帯(19:30)
- 勉強を始める時刻(20:30)
- 就寝時刻(22:00)
- 3カ所で保護者から子どもへの声かけを確実にしてください。
- ※ノーマディアタイム

【保護者へのお願い】

- 就寝(22:00までに)
- 翌朝起床(7:00までに)
- 朝食を食べさせる
- 登校(8:00までに)
- ※早寝早起き朝ご飯

T: 保健部 (体育指導係、保健指導係、給食指導係)

C: 体育委員会 (体づくり)

C: 保健委員会 (健康観察配り)

C: 給食委員会 (給食放送呼びかけ)

P: 各家庭で早寝早起き朝ごはんのきまりを親子で作り、実践。

* 家庭教育充実研修会「歯と口の健康」アンケート→「早寝早起き朝ごはん」の取組に変更できないか4月に話し合う。

* 学校保健委員会で報告、情報共有

7 実践化に向けた具体的な取組 (PDCAサイクル)

① 学級PTA目標、努力点から実践、評価、改善策のサイクル

学級PTA活動の取組状況の把握・分析とFB

第1回学級PTA: 各学級・学年ごとにPTA共通実践事項の努力点の設定

学年	努力点
1年生	① テレビを消す時間をつくり、手伝いをしたり家庭で話をしたりする。 ② 基本的な生活習慣に関する約束を決める。 ③ おはようございます、行ってきます、いただきます、ごちそうさまなどのあいさつを元気よく心を込めて言えるようにする。 ④ 子どもの毎日の本読み(音読)を聞く。

Plan → Do → Check → Action

前・後期の取組

- 取組状況の把握: アンケート調査実施
- 取組状況の集約: アンケート集計
- 取組状況の分析: アンケート結果分析

○月の学級PTA: 各学級ごとにPTA共通実践事項の話合いによる反省

PTAだより「ひだまり」の発行: PTA共通実践事項のアンケート調査の分析結果、子ども、保護者、教師の声等を掲載して全家庭に配付する

※ FB: フィードバック

全学級のPTA活動年間努力点の設定とその取組

学年	努力点
1年生	① テレビを消す時間をつくり、手伝いをしたり家庭で話をしたりする。 ② 基本的な生活習慣に関する約束を決める。 ③ おはようございます、行ってきます、いただきます、ごちそうさまなどのあいさつを元気よく心を込めて言えるようにする。 ④ 子どもの毎日の本読み(音読)を聞く。

実践

①全学級のPTA努力点に5つの共通実践事項を位置づけて1年間(2サイクル)取り組む。②授業参観で多くの保護者の参加を促し、学級PTAを開き、PTA共通実践事項の取組についてグループでの話合い活動を設定する。③各家庭での様子を一人ずつ話すことで情報交換が図れるようにするとともに、保護者の意識を高めるようにする。

② 学級PTAでの話し合い活動のイメージ

情報交換を深める少人数の話し合い活動

先生、こんな時はどうすればよいですか?

なるほど! 今度うちでもやってみよう!

うちではこんなふうに取り組んだらうまくいきましたよ。

前期・後期に取り組んだ成果や課題を11月26日の学級PTAで話し合うようにする。5、6人の小グループによる話し合い活動を設定したことで、各家庭での様子を一人ずつ話し合い、中身のある情報交換をする予定です。

【1年間: 2サイクルの手順】

- ◆第1回学級PTA: 4月13日、14日、15日
- ◆第2回学級PTA: 9月16日
- ◆第3回学級PTA: 2月28日、3月1日、2日

〈前期〉4月～9月

- 4月の学級PTAで説明し、目標設定を話し合う。
- 4月～9月(前期)で各家庭で実践する。
- 学校評価(前期)と一緒に共通実践事項の取組結果をGoogleフォームで集約する。(9月初旬)

〈後期〉10月～2月

- 9月の学級PTAで取組結果について話し合う。
- 10月～2月初旬(後期)で各家庭で実践する。
- 学校評価(後期)と一緒に共通実践事項の取組結果をGoogleフォームで集約する。(1月下旬)
- 2月の学級PTAで取組結果について話し合う。

※学級PTA 4月、9月、2月の3回 1月は来年度役員決め

③ 継続した取組を行うための掲示用紙

家庭の教育力アップ共通実践事項設定の仕方(例)

我が家のPTA共通実践事項

児童氏名 年

① 進んであいさつ(学校・家庭・地域)をしよう。

② 一家庭一家訓(手伝い等)

③ ノーメディアタイム(〇時〜〇時)

④ 読書活動(うち読二〇分)

⑤ 早寝・早起き・朝ご飯

早寝 時・早起き 時

※学年に応じて遅くとも午後10時までに就寝
※午前6時から7時までの時間帯で起床時間を設定する。

※曜日を限定せず毎日、継続して取り組めるように、時間帯(19:00~20:30)や時間(1時間30分)などで設定するようにする。

※家庭でのお手伝いを中心にルールやきまりなどを設定する。できるだけ肯定的な文で設定する。
(例)「お風呂そうじを毎日する。」

家庭掲示用:PTA共通実践事項設定の仕方(例)

〇〇学校PTA共通実践事項

① あいさつ(学校・家庭・地域)

② 一家庭一家訓(手伝い等)

③ ノーメディアタイム(〇時〜〇時)

④ 読書活動(うち読書二十分)

⑤ 早寝・早起き・朝ご飯

(早寝 時・早起き 時)

実効性があり、継続した取組にするために、この用紙をテレビの横など、よく見えるところに掲示して、時間になったら保護者が子どもに声かけができる環境をつくる。

※ 4月の学級PTAで説明し配布、家族で話し合っで決める。家庭のよく見えるところに掲示して取り組む。

④ 取組状況の集約方法・・・学校評価(前・後期)と一緒にGoogleフォームで集約する。
【あいさつ運動】 【一家庭一家訓】

令和3年度後期の学校評価(保護者から)

11 お子さんは、気持ちよいあいさつや「はい」という明るい返事をしていますか。→あいさつ運動

【前期評価】	71.8	73.9	77.6	72.2	83.5	74.8	75.6
【後期評価】	82.8	82.0	77.0	80.3	76.2	76.8	79.2

※この数値は1と2を合わせた数

1, 2を合わせると学校全体で**79.2%**。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。あいさつがいつでも・どこでも・だれとでもできるようにするためには、その姿を大人が示すことが大事です。学校でも重点指導事項に掲げて指導していますが、家庭内でもぜひ実践していただければありがたいです。

令和3年度後期の学校評価(保護者から)

12 お子さんは、家庭でお手伝いをしていますか。→一家庭一家訓

【前期評価】	76.9	76.1	68.4	71.8	77.2	79.6	75
【後期評価】	74.6	71.9	72.1	65.8	63.2	76.8	70.7

※この数値は1と2を合わせた数

1, 2を合わせると学校全体で**70.7%**。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。家庭内で子どもに家族のために役立つお手伝い等の役割を与えることは、子どもにとって良い経験になります。まずは家庭内で学年の発達段階に応じて少しずつ家庭内の役割を与えて実践していただければありがたいです。

令和3年度後期の学校評価(保護者から)

8 家庭学習の習慣化に努めましたか。→ノーメディアタイム

【前期評価】	65.4	60.5	58.2	51.3	54.4	53.5	57.3
【後期評価】	74.1	55.0	60.5	56.0	52.3	54.9	58.8

※この数値は1と2を合わせた数

1, 2を合わせると学校全体で**58.8%**。情報化社会でよりよく生きていくためにはデジタル機器を自分でコントロールする力を身に付けなくてはなりません。そのためには、学校での情報モラル教育とともに家庭でのルールづくり、マナーなど学校と家庭が連携して継続的に取り組んでいく必要があると思います。

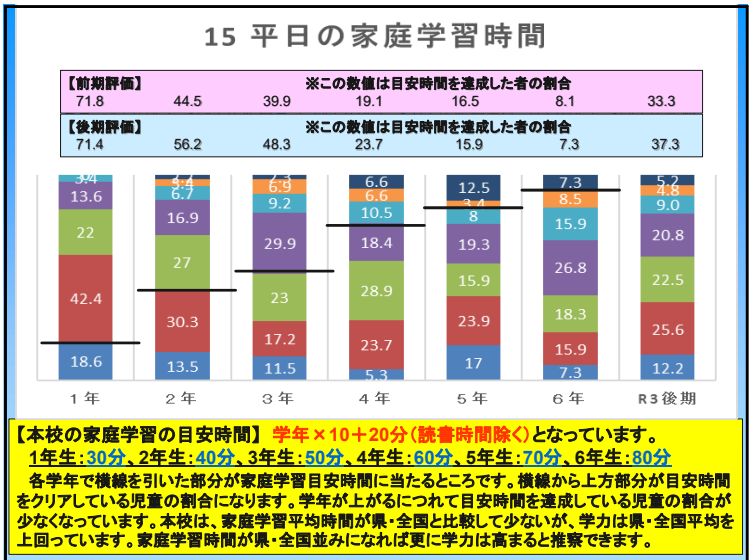
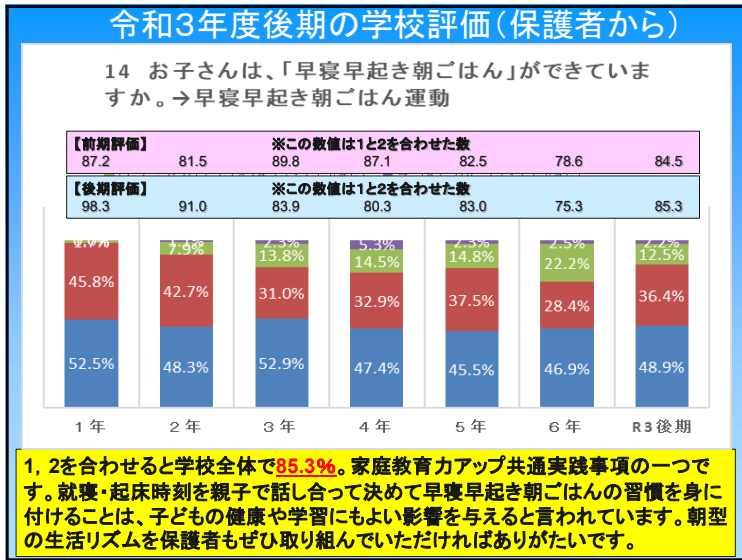
令和3年度後期の学校評価(保護者から)

9 お子さんは、朝読み夕読みを行いましたか。→読書活動(うち読)

【前期評価】	61.4	50.6	42.3	45.6	43.7	37.4	47.2
【後期評価】	64.2	62.9	55.2	48.7	51.7	42.7	55.9

※この数値は1と2を合わせた数

1, 2を合わせると学校全体で**55.9%**。家庭教育力アップ共通実践事項の一つです。コロナ対策の関係で学校図書の出貸ができなかったことも影響していると考えられます。状況を見ながら学校図書の持ち帰りも始めますので、家庭でも子どもが読書のできる環境づくりの御協力をお願いします。



※前期・後期の学校評価項目に5つの共通実践事項に係る項目を入れてアンケート調査しながら、取組状況を把握していく。この結果を令和5年度12月の家庭教育充実研修会で発表するとともに、子どもの変容を知育面、徳育面、健康・体力面の各指標から把握して成果と課題にまとめていく。

※前期・後期の学校評価はメール配信、Googleフォームで集約→9月と2月学級PTAで話し合いに活用する。

【参考資料】 9月と2月の学級PTAの進め方の例

1 家庭教育力アップ共通実践事項の取組

【話し合いの進め方】

- ① 5・6名の小グループをつくり、共通実践事項についてグループ内で各家庭で2学期以降に取り組んだことについて報告する。 ○ どのように取り組んだか? どうだったか? 良かった点, 困った点など
 - ② 各グループごとに出された意見をまとめ、全体場で報告する。
 - ③ 学級委員長は意見をまとめ、4段階評価を記入する。
 - ④ 最後に担任からの話を聞く。
- * 各学級の意見を記入したものを1部教頭へ提出する。

() 年 () 組

観 点	前期 ・ 後期 の取組についての成果○と課題●	4段階評価
①あいさつ運動の取組 (家族、近所)		1・2・3・4
②一家庭一家訓の取組		1・2・3・4
③ノーメディアタイムの取組		1・2・3・4
④読書活動(うち読)の取組		1・2・3・4
⑤早寝・早起き・朝ご飯の取組		1・2・3・4

* 4段階評価 4 : よくできている 3 : 大体できている 2 : あまりできていない 1 : 全然できていない



来年度に向けた改善策	
------------	--

【参考資料】年度初めの学級PTAの進め方例

【協議事項】

- 1) 担任、保護者の自己紹介
- 2) 学級経営方針の説明
- 3) 生活・学習指導について
 - ① 生活のしおり・家庭学習の手引きについての共通理解
 - ② 日課表についての共通理解
- 4) 学級PTA年間活動計画について
 - ① 学級PTA努力点の設定
* あいさつ、一家庭一家訓、ノーメディアタイム、読書活動、早寝早起き朝ごはんの5点で設定する。
 - ② 学級独自の活動の設定
* 親子触れ合い活動に関する取組について話し合う。
- 5) 学級役員決め及び紹介

家庭教育力アップ共通実践事項に係る努力点の設定例 令和4年度 各学級・学年PTAの努力点の設定（例）

家庭教育力アップ 共通実践事項	学年	各学年の取組内容
① あいさつ運動 (家族・近所)	1年	先手あいさつに取り組む。
	2年	場に応じた自分から進んで挨拶や会釈ができるように意識して声かけをする。
	3年	自分から進んで元気よく挨拶をする。
	4年	各家庭であいさつの目標を決め、用紙を記入し、掲示する。
	5年	各家庭の中で普段言っていない(ありがとう等)から始める。
	6年	先手あいさつを習慣づける。
② 一家庭一家訓	1年	「自分のことは自分でできるようになる」を基本目標に各家庭で家族そろって家訓を決め取り組む。
	2年	各家庭で話し合いをもち、内容の見直しをする。掲示する。
	3年	お互いに声かけをし合い、家族全員で取り組む。
	4年	各家庭で家訓を設定し、用紙に記入して掲示する。
	5年	各家庭で取り組む。
	6年	「自立(自分のことは自分でする)」をテーマに各家庭で核をつくり取り組む。
③ ノーメディアタイム	1年	週1回以上は個々の家庭で曜日、時間を設定し進める。
	2年	各家庭で時間を決め、ノーメディアタイムの活用の仕方を工夫して取り組む。
	3年	宿題をするときにはテレビを消す。
	4年	ノーメディアタイムには家族で食事をし、楽しい団らんの時間を作る。毎日時間を設定し、守れるようにする。
	5年	各家庭で時間と曜日を定める。
	6年	夜10時以降はテレビ、スマホ等を見ない。
④ 読書活動(うち読)	1年	ノーメディアタイムに親子読書の時間を作り、親子で読み聞かせや読書をする。
	2年	ノーメディアタイムを有効に活用して毎日の家庭学習の中に読書活動を取り入れていく。
	3年	週1回読み聞かせに取り組む。
	4年	1日1回音読をする。毎日10分間読書。ノーメディアタイムには親子読書をする。
	5年	ノーメディアタイムに本を借りてきて読む。
	6年	音読を毎日続ける。
⑤ 早寝早起き朝ごはん	1年	22時までには就寝、7時までには起床、朝食を摂り、8時までには登校する。
	2年	〃
	3年	〃
	4年	〃
	5年	〃
	6年	〃

※ 年度当初の授業参観・学級PTAで設定する。